



日本防災設備協同組合 ●東京都文京区本郷一丁目15番6号 電話 03-3813-9650(代)

URL <http://nichibou.main.jp/>

事務連絡 nichiboukyou1@io.ocn.ne.jp
営業連絡 nichiboukyou2@dune.ocn.ne.jp

社内回覧

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 月度理事会の概要		1
------------	-------	---

情 報

◎「東日本大震災が組合に対して与えた影響」について		
中小企業団体中央会	...	4～5
◎「介護施設火災」について		
日本経済新聞（25年2月9～11日）	...	6～8
◎ローカルニュース		
「火災現場での救助活動協力者に署長感謝状」		
東京消防庁本郷消防署	...	9

事務局だより

・組合の主な予定	...	10
・共済制度について	...	10
・注文は今後もFAXで	...	10

2 月度理事会概要

開催日時： 平成 2 5 年 2 月 2 1 日（木）15 時 00～17 時 00 分

開催場所： 文京区民センター 2 階 B 会議室

文京区本郷 4－1 5－1 4

出席役員数： 6 人

（1）理事長挨拶

理事会に参集いただきありがとうございます。

只今から 2 月度理事会を開催します。宜しく、お願いします。

（2）業務報告

① 事務局運営・渉外

- ・ 2 月 1 5 日（金）梓設計事務所訪問（広江副理事長、岡野事務局長。日本設計事務所懇談会会長・山下設計の紹介による）。
「防排煙設備実務必携」の発行等、当組合活動について説明。
6～7 月頃講習会開催の要請を受けた。受講者にテキストを販売して欲しいとのこと。
- ・ 第 4 6 回組合通常総会（5 月 2 3 日）までのスケジュールが事務局から報告された。

② 広報：防災組合ニュース 2 月 1 0 日号 発行

③ 教育：特になし。

④ 福利厚生・企画：1 月 1 7 日（木）新年賀詞交歓会収支報告。

⑤ 財務

売上は前年対比でほぼ同額である。仕入の値引き交渉を行ったが売上利益率が厳しくなっているので、厳しい決算になりそうである。

⑥ 共同購買

財務報告にあった通り厳しい状況にあり、年度末に向け引き続き

各位のご協力をお願いする。

⑦ 開発、青年部会：特になし。

⑧ 防排煙設備検討委員会

- ・ 2月14日、第36回の委員会を実施。「防排煙設備実務必携Ⅱ」はゲラ刷り段階になった。
- ・ 先ほど、「事務局運営・渉外」で報告の通り、建築設計業界への働きかけも積極的に進めており、6～7月の講習会資料も考えたい。

⑨ 支部運営促進・その他の事業：特になし。

(3) 議案の審議

第1号議案 理事会の開催方法について

時間配分を報告事項よりも審議事項にウエイトを掛ける方向で引き続き検討していきたい。(継続)

第2号議案 新年度予算案について

財務担当から予算案を提示し、内容説明・審議を行った。
(継続)

第3号議案 50周年記念行事について

平成26年度の通常総会を目処に記念行事を行う。

- ・ 記念パーティーを行う。
- ・ 記念品として、例えば30年～50年の記録をまとめて配布してはどうか。(CD形式、または 冊子形式)
- ・ 特別予算計上を検討する。(案：300万円程度)

(4) その他

- ・ 次回理事会・・・平成25年3月21日(木)

午後3時00分～5時00分

於：文京シビックセンター 5階B会議室

- ・ 三役会・・・4月18日(木)

平成25年2月度業務報告

・月 日 (曜)	・内 容 等	・来局理事等
1月17日 (木)	1月度理事会兼役員会 於：東京ガーデンパレス 3階会議室 新年賀詞交歓会 於：東京ガーデンパレス 2階「高千穂の間」	
1月25日 (月)	防災かながわ協同組合新年会 . . .	広江副理事長
1月29日 (火)	業務決裁 . . .	大塚専務理事
1月30日 (水)	業務決裁 . . .	藤岡副理事長 (会社にて)
2月 6日 (水)	研究部会 (組合事務所にて) 50周年記念事業について . . .	永井理事長、他
2月13日 (水)	小出会計事務所 (経営診断)	
2月14日 (木)	第36回防排煙設備検討委員会 (文京シビックセンター5B) . . .	広江副理事長、他
2月15日 (金)	梓設計事務所訪問 . . . 防災組合ニュース (1月10日号) 及び機関紙「防災設備」 発行	広江副理事長、岡野事務局長
2月21日 (木)	2月度理事会 (文京区民センター2階B会議室) 業務決裁 . . .	藤岡副理事長

中小企業団体中央会

調査結果の概要

東日本大震災が組合に対して与えた影響について

回答のあった 1,224 組合の東日本大震災が組合に対して与えた影響については、「共同事業売上の減少」が 320 組合 (26.1%)、「式典・イベント等の中止・延期」が 253 組合 (20.7%)、「計画停電・節電による業務の停滞」が 229 組合 (18.7%)、「燃料・原材料の調達困難」が 223 組合 (18.2%)、「物流悪化による業務の停滞」が 189 組合 (15.4%)、「共同事業の停滞」が 128 組合 (10.5%)、「組合員の減少」が 111 組合 (9.1%)、「共同施設、什器備品等の被害」が 85 組合 (6.9%)、「関係先との連絡不通」が 83 組合 (6.8%)、「資金繰りの悪化」が 68 組合 (5.6%)、「物価の上昇」が 67 組合 (5.5%)、「通信・ネットワークシステムの障害」が 66 組合 (5.4%)、「事務局機能の停滞」が 43 組合 (3.5%)、「共同事業売上の増加」が 34 組合 (2.8%)、「その他」が 24 組合 (2.0%) となっている。なお、「影響は特になかった」は 443 組合 (36.2%) となっている。また、「その他」としては「帰宅困難」、「通勤困難」、「外国人技能実習生の帰国」、「組合員の被災地からの移転」、「行政機関との連絡増化」などが挙げられている。(図 1)

東日本大震災は東北地方に甚大な被害をもたらし、関東地方でも被害を被った地域がある。福島第一原子力発電所の事故の影響も併せ、我国経済に計り知れない損失を与えている。今回の調査では、「影響は特になかった」とする組合が多かった一方、震災が組合に与えた影響の回答内容は多岐に亘っており、最も多かったのは「共同事業売上の減少」であった。消費マインドの低下や風評被害、品不足等が売上減少の原因として考えられる。本会が四半期毎に実施している景況調査においても、震災発生から 1 年半以上が経過しているにもかかわらず、売上の減少が続いていることが示されており、依然として多くの組合が震災の影響を払拭出来ないものと推察される。

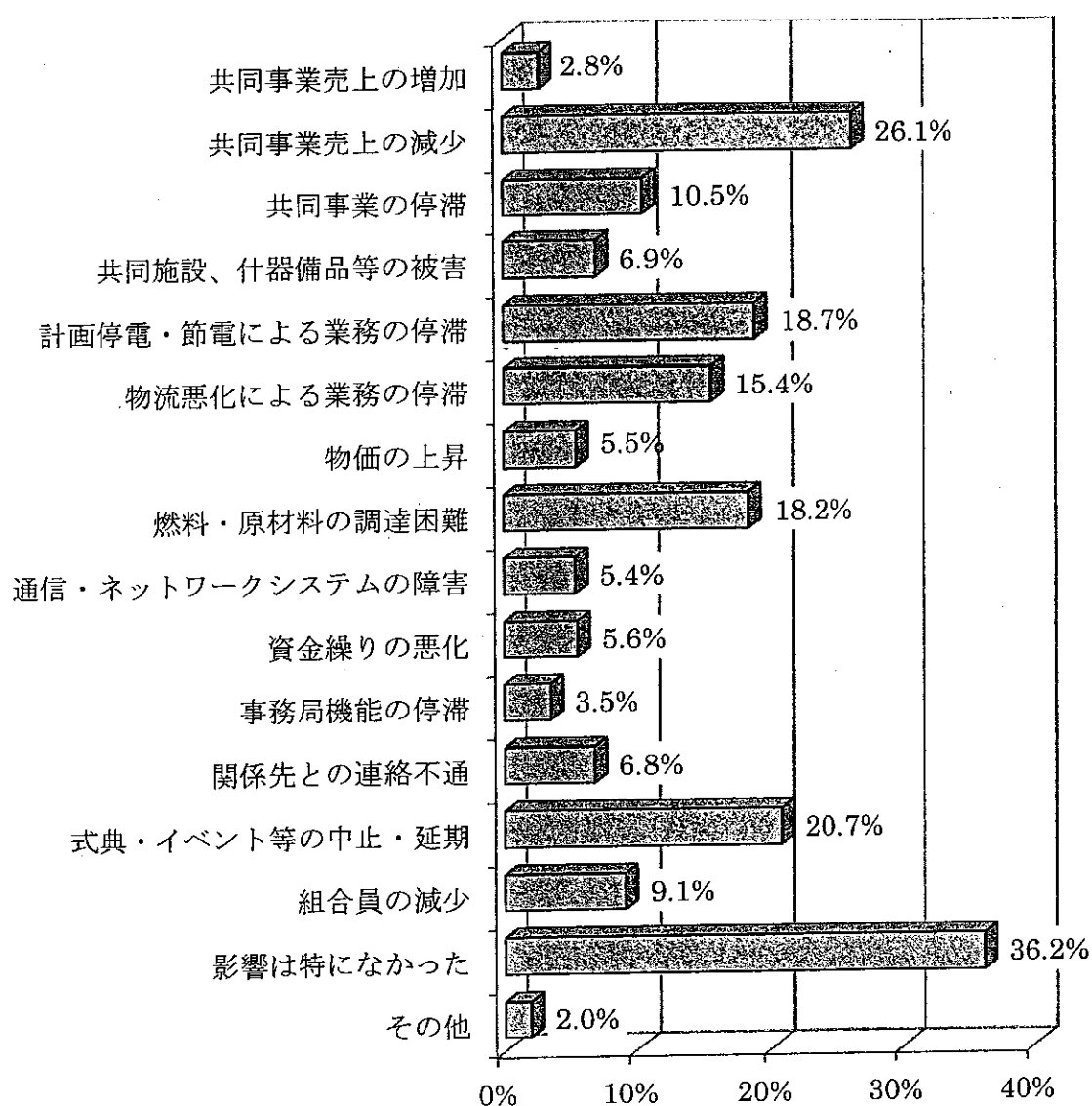
また、「計画停電・節電による業務の停滞」、「燃料・原材料の調達困難」、「物流悪化による業務の停滞」があったとする回答も上位を占めており、多くの組合が震災後、事業の継続に困難を来していたことが明らかとなった。

本会が震災直後に実施した調査では施設等に直接被害を被った組合について正確な組合数を把握できていなかったが、今回の調査において 85 組合で「共同施設、什器備品の被害」があったことが判明した。

なお、組合員の主な業種別に最も多かった回答を見ると以下の通りとなった。

- ①製造業：「計画停電・節電による業務の停滞」及び「共同事業売上の減少」
- ②建設業：「共同事業売上の減少」
- ③運送業：「燃料・原材料の調達困難」
- ④卸売業：「式典・イベント等の中止・延期」
- ⑤小売業：「共同事業売上の減少」
- ⑥サービス業「共同事業売上の減少」

図1 東日本大震災が組合に対して与えた影響 [M・A n=1,224]



介護施設火災

2階の居室が火元か

長崎県警 避難路の状況確認へ

入居者4人が死亡した長崎市のグループホーム「ベルハウス東山手」の火災で、2階中央付近の居室の燃え方が激しいことが9日、長崎市消防局などの調査で分かった。長崎県警と消防局は、この付近が火元だった可能性が高いとみて現場検証し、出火原因などを調べた。



火災があったグループホーム「ベルハウス東山手」（9日午前、長崎市）

市によると、施設の定員は9人で、1階に3つ、2階に6つの居室があった。大浦署によると、死亡した4人のうち3人が2階の入居者だった。長崎市によると、昨年施設を实地指導した際、非常階段に植木が複数置かれており、検証では避難経路が確保されていたかも確認する。

火災は8日夜発生。大浦署によると、入居者10人と管理人、職員の計12人が搬送された。死亡した4人は、

防火の不備は正せず

火災で入居者が死亡した長崎市の高齢者向けグループホーム「ベルハウス東山手」は、防火設備に不備があるとして過去に長崎市から改善を求められながら、十分な是正をしていなかった。長崎

枠だけの窓、焦げた壁

枠だけを残した窓、黒一夜が明けた9日午前、く焦げた周囲の壁、原形をとどめていないエアコンの室外機。長崎市のグループホーム「ベルハウス東山手」では火災から

たのは安達キサノさん（88）、中島千代子さん（82）、井上ハツコさん（86）、太田サワエさん（77）。意識不明となっているのは熊崎チサさん（90）と牧山清光さん（78）で、ほかに4人が入院、2人は帰宅したという。大浦署などは定員以上の入居者がいた経緯について、施設側から事情を聴く方針。厚生労働省は9日、情報収集のため職員3人を現地に派遣、総務省消防庁も職員7人を派遣した。また長崎市消防局は火災を受け、9日午後から、市内にあるグループホーム約70カ所を緊急立ち入り検査する。消防法違反がないか調べる。大浦署は9日未明、地上3階地下1階としていた施設を地上4階建てと訂正した。市への届け出では1階は食堂や居室、2階は居室、3、4階は倉庫となっている。

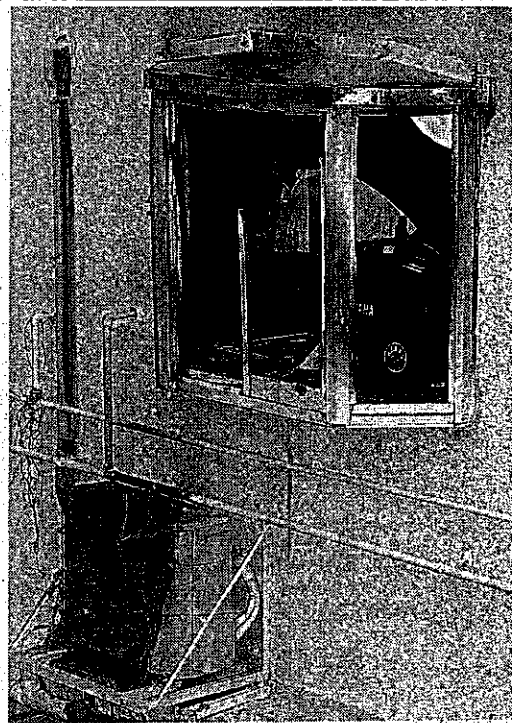
市建築指導課は2010年4月、県外のグループホーム火災を受け市内の施設を緊急点検した。ベルハウス東山手では、2階に建物内部の延焼を防ぐ防火扉がなく、火災時に消防士が救助に入る進入口が狭いなどの建築基準法違反が見つかり、改善するよう行政指導した。同年9月に再調査すると、進入口は十分な広さ

が確保されていたが、防火扉の問題は未解決のままだったため2度目の指導をした。しかし強制力のない行政指導だったこともあり、施設側からその後の対応の報告はなく、市もそれ以降、改善を求めなかった。最終的に防火扉が取り付けられただけで、市は現状を確認するという。

「助けて」職員パニック

近くの教諭ら救出へ黒煙内に

介護施設火災



グループホーム「ベルハウス東山手」の室内を調べる消防関係者（9日、長崎市）

死の恐怖を感じながら、充満する黒煙に飛び込んだ。4人が死亡、2人が意識不明の重体となった長崎市のグループホーム「ベルハウス東山手」

の火災。8日夜の発生直後、現場に駆け付けた中学校教諭や消防隊員らは建物内に入り、懸命の救出活動を繰り返した。

「火事です。東山手の時40分ごろ119番し

ベルハウスが燃えていました。現場に駆け付けたパニック状態の女性職員が「助けてください」「消防車を呼んでください」と叫んでいた。

再び飛び込むと、2階の部屋から「ゴトン」という何かが倒れるような音。火が天井に向かって勢いよく上がるのが見え、近くに誰かが倒れて

2階部分にあたる玄関から進むと煙が充満し、せきや涙が止まらない。自力で歩けない男性高齢者を抱えた女性職員を手伝い、外のベンチに座らせた。

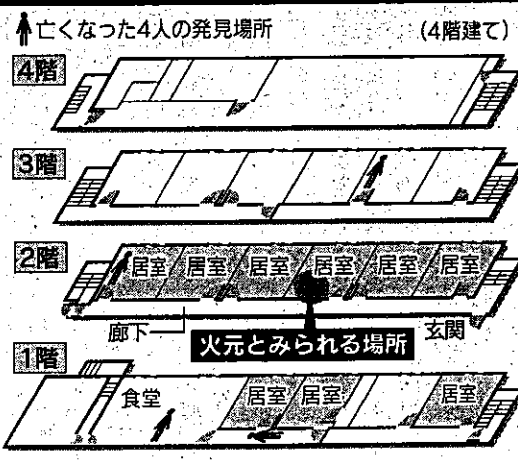
「自分も死ぬかもしれない」と恐怖を覚えた。通り掛かったタクシー運転手らが、倒れていた人を外まで運んでくれた。教諭が屋内にいたわずか4分間を長く感じ

「自分も死ぬかもしれない」と恐怖を覚えた。通報で駆け付けた消防隊員は午後7時50分ごろ、建物内の捜索を開始した。1階から入った隊

員は空気呼吸器を背負い、ライトで照らしながら進むも黒煙が予想以上に広がり、ほぼ何も見えない。車いすの女性を発見し、手探りで状況を保

握、外に運び出したが既に心肺停止状態だった。指揮官は、「熱気の中、入所者以外に隊員も心配になった」と振り返った。

グループホーム「ベルハウス東山手」の見取り図



2階、防火扉が未設置

代表「覚えていない」

運営会社

火災が起きた長崎市のグループホーム「ベルハウス東山手」を運営している「アイ・エル・エス」の榎屋幸子代表（61）は9日夜、長崎市内で報道陣の取材に応じ、火元とみられる2階に建物内部の延焼を防ぐ防火扉がないことについて「設置していたかどうか、はっきり覚えていない」と述べた。また「たくさん扉がある（かえって）入所者に不自由だ」といまいな説明をした。

火災は8日夜に発生。地上4階建ての建物にいた高齢者や建物所有者、職員計12人が救急搬送され、入所者3人を含む計4人が死亡、2人が意識不明の重体だ。

別施設も不備放置

介護施設火災 行政指導の対象に

4人が死亡した長崎市の認知症グループホーム「ベルハウス東山手」の火災で、長崎県警は10日、現場検証を終了し、出火元を2階中央の部屋と特定した。今後は出火に残っていた焼損物を鑑定し出火原因を調べる。

また長崎市は10日、施設を運営する「アイ・エル・エス」の樹屋幸子代表(61)が別のグループホームでも火災時の避難設備の不備を行政指導され、放置していたことを明らかにした。市は9日に2度目の行政指導をした。ベルハウスでは、建築基準法違反にあたる防火扉の不備が放置されていたことが分かっている。

県警によると、地上4階建ての建物の中で、焼き取ったのは出火元の部屋と隣室、その前の廊下だけだった。他の部屋は煙によるすすが壁や天井に付着していた。出火元は加湿器付近が激しく燃えていた。県警は死亡した4人を司法解剖、死因の特定を急ぐ。11日にも、出火当時の様子やグループホームの運営状況について「アイ・エル・エス」の職員らから本格的な聞き取りを始める。

長崎市によると、「アイ・エル・エス」がベルハウスの近くで運営する「グループホームオランダ坂」を2010年4月に調査した際、火災時の避難のための非常用照明が設置されていないことが判明した。

さらに「アイ・エル・エス」から、地上4階建て建物の3階は倉庫とすする書類が市に提出されており、3階に居住者がいることを、市側は火災後に初めて知ったという。3階の居住者は亡くなった中島千代子さん(82)で、「アイ・エル・エス」

系列の訪問介護事業者からヘルパーの派遣を受け、ベルハウスの風呂で入浴サービスを受けるなどしていた。

火災現場での救助活動協力者に署長感謝状を贈呈

本郷消防署

当署では、平成25年2月8日（金）、火災現場において救助活動に協力したエストニア国籍の会社員ジュラヴリョフ・オレグ氏（40歳男性）に本郷消防署長（須田 隆藏）から感謝状を贈呈しました。

これは、1月10日（木）午後6時45分頃に、文京区千駄木三丁目の住宅密集地で発生した火災の際、消防隊が到着する前に火元建物の隣に居住する目の不自由な高齢男性を救助したことによるものです。

氏は付近を偶然通りかかったところ、きな臭いにおいと炎で火災に気づき、声の聞こえる住宅に飛び込むと、高齢者の夫妻が避難しようとしていました。氏はすぐに男性に靴をはかせ、杖を持たせた上、背負って避難させました。夫妻の住宅は残念ながら全焼被害を受けましたが、迅速な救助活動が行われたことで、夫妻は怪我もなく避難することができました。

贈呈式には、救助されたご夫妻も立ち会われ、氏にお礼を述べておられましたが、氏は「とっさの行動で無我夢中でした。怪我もなく無事に避難できてよかったです。」と話していました。

本郷消防署では、この勇気ある行動に敬意を表するとともに、今後も消防活動技術のさらなる向上に取組み、火災被害の軽減に努めてまいります。

（文責 防火管理係 藤田）



事務局だより

◎組合の主な予定

- 3月21日 3月度理事会
- 3月 末日 永年勤続表彰者推薦依頼
- 4月10日 通常総会の公告
- 4月26日 4月度理事会
- 5月23日 通常総会（第46回）

◎共済制度について

●消防設備保守・点検・設置工事等の賠償責任保険：

三井住友海上火災保険株式会社（代理店・株式会社サンリビング）と提携しています。請負業者賠償責任保険・生産物（完成工事）賠償責任保険・受託者賠償責任保険がセットになった総合型の保険です。

●自動車共済制度：

関東自動車共済共同組合と提携しています。

●団体傷害補償制度：

三井住友海上火災保険株式会社（代理店・株式会社サンリビング）と提携しています。

◎ ご注文は今後も FAX をお願いします。

組合員の皆様には、いつも FAX でご注文をいただき誠にありがとうございます。ご注文の商品名・数量等間違いのない納品をさせて頂くために、ご注文は今後とも FAX でお願いいたします。